

平成29年度第4回図書館委員会議事録

日時 平成30年1月16日(火) 15:00~16:38

場所 総合図書館6階 図書館ホール(豊中地区)

出席者 尾上委員長、佐藤・藤本(副館長)、大西(図)、岡島(文)、山中(人)、瀧口(法)、大屋(経)、盛田(理)、藤堂(医)、永井(医病・陪席)、加藤(歯)、中川(薬)、高井(工)、出口(基・代理)、日野(言)、原(情)、下村(高)、疋田(蛋・代理)、池田(社)、井上(接・代理)、斗内(レ)、下條(サ)、永田(博)、佐藤(全教)

欠席者 高橋・青野(副館長)、利(国)、高島(生)、片山(連)、原(微)、古澤(産)、鬼澤(事)

○ 議事に先立ち、新任の尾上委員長(附属図書館長)の自己紹介があった。

議事

1. 前回議事録(6/20)

前回議事録については既にメールで確認を済ませているが、参考までに配付があった。

2. 報告事項

(1) 諸会議報告

・電子図書館委員会

平成29年11月29日に開催された標記会議及び12月22日メール審議について、協議事項の協議の際に併せて報告があった。

・総合図書館運営委員会

平成29年7月26日に開催された標記会議について、配付資料に基づき報告があった。

・生命科学図書館運営委員会

平成29年7月18日に開催された標記会議について、配付資料に基づき報告があった。

・理工学図書館運営委員会、工学研究科・工学部図書委員会合同委員会

平成29年7月19日に開催された標記会議について、配付資料に基づき報告があった。

・外国学図書館運営委員会

平成29年7月7日及び8月3日メール審議について、配付資料に基づき報告があった。

(2) 平成30年度エルゼビア社電子ジャーナル購読タイトルの選定について

標記のことについて、配付資料に基づき報告があった。

(3) その他

特になし。

3. 協議事項

協議に先立ち、電子的情報基盤資料の整備について、配付資料に基づき概要説明があった。

(1) Cell Press Collection 3年特別提案について

Cell Press Collection 3年特別提案に関するメール審議による電子図書館委員会の審議結果について、配付資料に基づき説明があり、協議の結果、提案どおり了承された。

(2) 平成30年度の電子的情報基盤整備経費部局分担額算出方法について

平成30年度電子的情報基盤整備経費の部局分担に関する電子図書館委員会の審議結果について、配付資料に基づき説明があり、協議の結果、平成26年度の教育研究基盤校費教員積算分に基づき、教員1人あたりの積算額を算出し、その数値に直近の各部局の教員数を乗じて算出することについて、提案どおり了承された。

(3) Web of Science、Scopus、SciFinder、Reaxysの経費負担方法について

各データベースにかかる電子図書館委員会の審議結果について、配付資料に基づき説明があり、

協議の結果、サイバーメディアセンターからの移管予算は平成30年度の各データベースの契約額に均等となるように配分することが了承された。また、平成30年度以降の各データベースの購読に要する経費の不足額について、Web of Science、Scopusは電子的情報基盤資料の「全学共通」の枠組みに組み込むこと、SciFinder、Reaxysは「分野共通」の「理工系」の枠組みに組み込むことが了承された。

- (4) 平成31年度以降のSpringer、Wileyの電子ジャーナルパッケージ契約について
平成31年度以降のSpringer、Wileyの電子ジャーナルパッケージ契約にかかる電子図書館委員会の審議結果について、配付資料に基づき説明があり、協議の結果、平成31年度はSpringer、Wileyの電子ジャーナルパッケージ契約を継続することが了承された。
- (5) Elsevier 前払い Pay Per View の導入について
Elsevier 前払い Pay Per View の導入にかかる電子図書館委員会の審議結果について、配付資料に基づき説明があり、協議の結果、利用経費徴収等に関する事務手続き等が整備された後に試行的に導入することが了承された。
- (6) 財源の多様化及び経費負担方式の見直しについて
財源の多様化及び経費負担方式の見直しについて、配付資料に基づき次の4案の説明があり、引き続き検討していくこととなった。
- 案1) 受益者負担方式導入の検討（基本料金制・年間固定額）
 - 案2) 電子的情報基盤資料の「全学共通 (Elsevier)」を「部局共通 (新設)」へ移行
 - 案3) 現在の予算の枠組み以外（補助金等）で電子ジャーナルを購読できないか等、財源の多様化のさらなる検討
 - 案4) 電子的情報基盤資料で購読している電子ジャーナル・データベース等の見直し
なお、委員から次の意見があった。
 - ・Springer, Wiley のパッケージ契約維持には賛成であるが、予算枠が増えないからと言ってエルゼビア社タイトルの購読額だけが減額されていくというのは困る。
 - ・購読タイトルの選定作業が負担になっている。
 - ・将来的に、予算が目減りしていくのは必定であるから、長期的な解決策の検討が必要である。

4. その他 特になし。

以上